



# 危険なオスプレイ

7月16日、本部教宣部の企画で、横田基地公署訴訟原告団の方と共に、大型バスにて基地周辺めぐりと基地公署について学ぶ事が出来ました。台風11号接近の中にも関わらず50人以上の参加者でバスは満員でした。

基地内建築中の建物が見えて来た時の話ですが、学校を建てているとの事で、彼らは20人学級なので定員以上になるクラスを増や

3、4年生に成ったら無い。教科書は、上級生からのおさがり。帳面も無い。本の白いところに書いた。大本営発表勝ったお話しされたように、戦争を、しない国に、シニアの皆さんが、戦争体験を語り継がなければならぬのではないかと思う。

私は、昭和8年生まれ、戦争には行ってないが、体験犠牲者ではある。私の家は山形県尾花沢市の小作農家ですが、戦前はまだまだ良かった。尋常(じんじょう)小学校に入学する時は帽子、学生服、靴を買い揃えてくれた。男女共学生徒1年から6年で130人程。2年生時に国民学校に成る。

まだまだある。食料難で白米は食べられません。芋飯、粟(あわ)飯、麦飯で勝った、それから満州、映画のおしん、衣服は着た切り雀である。継ぎ当て、今なら格好良かったか? 今なら格好良かったか? ミ、シラミ、虫の子であり、食料が無く栄養が取れない。

勉強も午前中で午後家は、兵隊に行っている農家の手伝いと山に薪拾い、校庭を耕して、作物作る。食料に、ジャガイモ、南瓜、さつま芋、飛行機の油(ヒマシユ)は使い物に成ったかわからない。家に帰っても、菓草取り、くずの葉(軍馬用の餌)を乾燥して、学校に持って行った。

3、4年生に成ったら無い。教科書は、上級生からのおさがり。帳面も無い。本の白いところに書いた。大本営発表勝ったお話しされたように、戦争を、しない国に、シニアの皆さんが、戦争体験を語り継がなければならぬのではないかと思う。

私は、昭和8年生まれ、戦争には行ってないが、体験犠牲者ではある。私の家は山形県尾花沢市の小作農家ですが、戦前はまだまだ良かった。尋常(じんじょう)小学校に入学する時は帽子、学生服、靴を買い揃えてくれた。男女共学生徒1年から6年で130人程。2年生時に国民学校に成る。

まだまだある。食料難で白米は食べられません。芋飯、粟(あわ)飯、麦飯で勝った、それから満州、映画のおしん、衣服は着た切り雀である。継ぎ当て、今なら格好良かったか? 今なら格好良かったか? ミ、シラミ、虫の子であり、食料が無く栄養が取れない。

勉強も午前中で午後家は、兵隊に行っている農家の手伝いと山に薪拾い、校庭を耕して、作物作る。食料に、ジャガイモ、南瓜、さつま芋、飛行機の油(ヒマシユ)は使い物に成ったかわからない。家に帰っても、菓草取り、くずの葉(軍馬用の餌)を乾燥して、学校に持って行った。



## 戦争をしてもいいならならぬ

オスプレイはヘリモードから飛行モードへの切替時が非常に危険だそう。自機のジェットエンジンとプロペラで乱気流を起こし、機体を水平に保つのが難しいそう。この危険なオスプレイの配備は、英国と日本だけで。イスラエルでさえ購入をこわっています。

安倍首相は、オスプレイの相当金額1機62億円の所を、210億円で17機購入すると云うのです。もう許す事はできません。戦争法案撤回と共に悪政と闘いましょう。

教育宣伝部長 尾芦富雄

せい、みんな二本鼻を流していた。鼻紙が無い。小学校で、田んぼも作つたが収穫はほとんど無し、金属品は供出、お寺の鐘も持っていた。

いよいよ、東京空襲が始まる。疎開者来る、食糧難ますます大変に成る。山里の小学校も空襲警報。学校裏山に逃げる練習、空から落下傘で、敵が降りてきたら竹槍で突く、飛行機で機関銃掃射、太木の陰に隠れると教えていた。子ども心でもこんな事して、勝てるはずが無いと思つた。

吉幾三の唄、テレビもねえ、ラジオもねえ、新聞もねえ、電気も、一家に1灯だけ、五十数軒の集落で、戦死した方が8人もいる。

いよいよ終戦、20年8月15日、教科書は墨で塗られて、読める所半分しか無かった。このような、経験は兄弟に聞くと、多少はあった。私の兄は3才上、5才下の弟は知らないと言

# 戦後70年平和を願う 戦争する国づくり反対 今こそ声あげよう



戦後70年。今年も、国民平和大行進が清瀬にやってきました。

7月21日 (火) 清瀬市役所駐車場に、8時30分集合。地区労、原水協の挨拶に続き中沢副市長も参加され、戦争で死んだ人々の名前を呼ぶかきかき、平和を願う言葉を述べ、話し合いました。

7月21日 (火) 清瀬市役所駐車場に、8時30分集合。地区労、原水協の挨拶に続き中沢副市長も参加され、戦争で死んだ人々の名前を呼ぶかきかき、平和を願う言葉を述べ、話し合いました。

## 戦後70年目の国民平和大行進 時代を逆戻りさせる戦争法案に怒り

戦後70年。今年も、国民平和大行進が清瀬にやってきました。

9時に竹丘公園へ向けて出発。当日はとても暑く、5・5km近くある長い距離でしたが、給水所が3ヶ所あり助かりました。参加者は100人以上。安倍自公政権が、戦争法を通過させようとしています。核兵器、原発、オスプレイ、沖縄、そして安倍政権を許さないなど、訴えること、たくさんあります。

隊列の先頭を歩き続けた西都保健協から世界大会に参加される、若い25歳の江野澤嶺さんは、「大会は初めて行かせて頂きます。今の安保政権は怖い、独裁者だと思つて、核兵器では平和は守れません。」とキツパリ話していました。

松竹分会 阿部史夫

いま国会では、政府与党が90日間という前代未聞の会期延長をしてこり押ししようとしている法案があります。「平和安全法制」という名で提出されましたが、中身は自衛隊が海外で制限なく武力行使を行うことが出来るようにするため「戦争法案」です。新法の「国際平和支援法案」と「平和安全整備法案」で構成されています。

この法案が可決されるとこんなことが始まります。まず、主にアメリカが起こした侵略戦争へ、世界のどこへでも自衛隊が派遣され

ます(日本の周辺という枠がなくなります)。「後方支援」は戦闘地域外だと言いますが、相手国から真っ先に狙われるのは後方支援

攻撃を仕掛けることも可能になります。しかし、肝心の「危ない!」中身は「秘密保護法」で隠され、国民が知らないうちに戦争が始

停戦合意後のアフガニスタンでさえ、35000人を超えるNATO軍が戦死しています。被害は自衛隊だけにどまりません。日



## 「戦争法案」で起ることは

です。戦闘行為に巻き込まれることは明らかです。「日本の存続が危ない!」と言って集団的自衛権の行使を認め、日本側から武力

まることになり。これだけでも、現地に派遣される自衛隊員からは死者を含め現在の何倍もの被害が出る事は明らかです。

本国内での自爆テロも現実のものとなるでしょう。その恐怖に怯えながらの生活を強いられることになりま



## 戦争は愚か 命を大切に



戦争は愚か 命を大切に

沖縄戦で亡くなられたすべての人々の氏名を刻んだ記念碑「平和の礎」

7月25日、台風12号が沖縄に接近する中、飛行機の欠航も致し方ないと思われたが、のろろ台風のおかげでぎりぎりのところで予定通り飛び立ち、初めて沖縄の地を踏むことができた。

沖縄に来たら必ず訪れておこうと思つていて、最南端の糸満市にある平和記念公園に足を運んでみると、時折雨混じりの空風が吹き荒れて、普段は観光客で賑わはずだけど流石に台風

## 辺野古節

1995年の沖縄米兵少女暴行事件以来、沖縄の米軍基地は私の「戦争」の象徴です。清瀬市生れ、米空軍「戦争」といものが、目大和田通信所を身近に育ちました。

2010年の12月に辺野古の海、大浦湾に潜りました。ジュゴン(ジュゴン)の来る海、希少な青珊瑚の群集の壮大さに感動しました。米軍基地移設の為に埋め立て計画地です。新基地建設阻止の運動として続けられている、座り込みのテントも訪問しました。色々話をしようと思いましたが、言葉に詰まり、上手く話せませんでした。

沖縄から遠く離れ、とても身近でのかななものでした。高校生の時に事件があり、沖縄の実態を認識しながら学校に行った事を今でも覚えていて。こんなに残酷な事が日本でおきているのかと絶望しました。子どもの頃は漠然と怖かった「戦争」といものが、目大和田通信所を身近に育ちました。

2010年の12月に辺野古の海、大浦湾に潜りました。ジュゴン(ジュゴン)の来る海、希少な青珊瑚の群集の壮大さに感動しました。米軍基地移設の為に埋め立て計画地です。新基地建設阻止の運動として続けられている、座り込みのテントも訪問しました。色々話をしようと思いましたが、言葉に詰まり、上手く話せませんでした。

沖縄から遠く離れ、とても身近でのかななものでした。高校生の時に事件があり、沖縄の実態を認識しながら学校に行った事を今でも覚えていて。こんなに残酷な事が日本でおきているのかと絶望しました。子どもの頃は漠然と怖かった「戦争」といものが、目大和田通信所を身近に育ちました。

## 毎年参加しています 国民平和大行進

7月22日 (水) ヨーカ

40数年前結婚した時、旗が風になびいて重かった。40数年前結婚した時、旗が風になびいて重かった。40数年前結婚した時、旗が風になびいて重かった。

署、風も強く、手に持ったのぼり旗が揺れていた。驚きました。被爆した人達が少なくなつて来て、今も苦しんでいます。

福島に人がいて、原発事故で大変な思いをし、家を捨て、やっと団地に入れたそうです。子ども達、孫たちに良い環境を残し、戦争もしない世の中になるよ、望みます。

今留、東京から、高留米から、高校生の方も世界大会に参加されると聞き、頼もしいです。

南町分会 上田チエ子



首里城跡。日本の作戦本部がこの地下壕にありこの山の形が変わるくらいアメリカ軍の艦砲射撃が行われたと言われる。

平和記念資料館の生々しい記録や遺品、平和祈念堂、この地で命を落とした20万の名前を刻んだ平和の礎。けたたましく鳴くクマゼミに引き寄せられるように小高い丘に登ると、霊域があり、府県・団体の慰霊塔が建立されている。見て回るうちに、70年前この地で20万人の戦死者のうち、半数が女性子供を含む一般人であったという記録を読むにつけ、こんな悲惨な結果をもたらす戦争は二度と繰り返しては行かないと強く考えさせられた。

今や人口の8割が戦争を知らない世代となり戦争をすることの愚かさや命の大切さを声を大にして訴えていかなければと、改めて考えさせられる旅となった。

元塩分会 小園照美